

質問に対する回答について

工事名) 東北自動車道 迫川橋補修工事

質問事項と回答

番号	質問事項	回 答
1	「金抜設計書 28 諸経費①」について 本工事で適用する「間接工事费率適用工種区分」をご教授ください。	積算に関する質問についてはお答えできません。貴社で想定される工種を選定して下さい。
2	「炭素繊維シート接着工図」の注釈について 各「炭素繊維シート接着工図」に 『注) 1. 施工前に現地計測を行い、確認すること。』とあります。現地計測が必要な項目をご教授ください。	現地計測が必要な項目は、腐食範囲、腐食厚さが拡大している可能性があるため、施工前に確認を行うものです。
3	「炭素繊維シート接着工図」の数量表について① 各「炭素繊維シート接着工図」の数量表にある『不陸修正材体積』の施工箇所について、『不陸修正工 (エポキシパテ) 使用量1.2kg/m <sup>2</sup> 』の施工の要否、および、費用計上の要否をご教授ください。	不陸修正工 (エポキシパテ) の数量は、投影面積で数値にしています。不陸修正材体積を用いて費用を算出してください。 使用量については、各橋梁の炭素繊維シート接着工図 (その1) に記載の標準使用量を参照してください。 なお、不陸修正工 (エポキシパテ) の備考欄に記載の1.2 kg/m <sup>2</sup> は削除いたします。 正しい数量表については後日訂正公告をおこないますのでご確認ください。
4	「炭素繊維シート接着工図」の数量表について② 現地の鋼材欠損状況により、各「炭素繊維シート接着工図 数量表」にある『不陸修正材体積』が変更となる場合、設計変更協議の対象になると考えてよろしいでしょうか。	腐食の状況により変更することが必要と認めた場合は、協議の対象となります。
5	「炭素繊維シート接着工図」の数量表について③ 炭素繊維シート接着工図、「迫川橋 (上り線) その2・6・13」、「迫川橋 (下り線) その2・6」の数量表における、B1 の『不陸修正材体積』数量に弊社算出数量と差異があります。当該数量の算出根拠をご教授ください。	算出数量に誤りがありました。 正しい数量については後日訂正公告を行いますのでご確認ください。 「迫川橋 (上り線) 炭素繊維シート接着工図その2」 B1 不陸修正材体積 0.585⇒0.059 「迫川橋 (上り線) 炭素繊維シート接着工図その6」 B1 不陸修正材体積 0.585⇒0.059 「迫川橋 (上り線) 炭素繊維シート接着工図その13」 B1 不陸修正材体積 0.585⇒0.059 「迫川橋 (下り線) 炭素繊維シート接着工図その2」 B1 不陸修正材体積 0.585⇒0.059 「迫川橋 (下り線) 炭素繊維シート接着工図その6」 B1 不陸修正材体積 0.585⇒0.059